

社会福祉法人 敬信福祉会

グループホーム あいの里 すばる

運 営 方 針

グループホームは、別名「共同生活型介護」ともいわれています。入居者様とスタッフが同じ屋根の下で共に過ごすその形態は、まるでひとつの家族のようでもあります。

私たちは、その共同生活の中で、入居者様に生き活きと輝ける日々を送っていただきたいという願いを込め、このグループホームを“すばる”と名づけました。

あいの里すばるが所在する大東市龍間には、緑豊かな自然に囲まれています。そこには繁華街の喧騒も、賑やかなネオンライトもありません。そのぶん、暗くなると夜空にはたくさんの星がきらめいているのが見られます。

“すばる”とは、そんな星たちが集まる星団の名前で、その語源は「集まってひとつになる」という意味の「統^すべる」からきているとされています。これは共同生活型介護の形態をとるグループホームの理想そのものであります。

この名の由来のとおり、私たちあいの里すばるは、入居者様とスタッフがひとつになり、ここで暮らす誰もが生き活きと輝ける場所であり続けられるよう努力いたします。

具体的には、安心・安全で健やかな暮らしの継続を常に念頭に置き、入居者様それぞれの個性を尊重した「その人らしい生活」の具体的な在り方を考え、各人の自立支援に向けた目標を設定し、スタッフがその実現をサポートいたします。

また、個別ケアにも重点を置き、入居者様それぞれに合ったケアの提供を心がけます。併設の診療所には認知症の専門医が在籍しており、しっかりとした医療体制が確保されているのも当グループホームの魅力です。